

法律学における 文献・資料の調べ方講習会 2024年度版

一橋大学大学院法学研究科ビジネスロー専攻
2024年度担当：得津晶

本日の内容

1. 論文とは何か？研究とは何か？
2. 先行研究・資料の探し方
3. 論文の書き方

1. 論文とは何か？研究とは何か？

一橋大学ビジネスロー専攻修了要件

修士課程：修士（経営法）

- ① 2年以上在学
- ② 30単位以上の修得
演習（必修8単位以上）
必修科目：BL
- ③ **学位論文**
修士論文 または
リサーチペーパー

博士後期課程：博士（経営法）

- ① 3年以上在学
LS修了者は2年以上
- ② 18単位以上の修得
修了者は14単位以上
2単位以上
必修：外国法特講I&II
- ③ **学位論文**

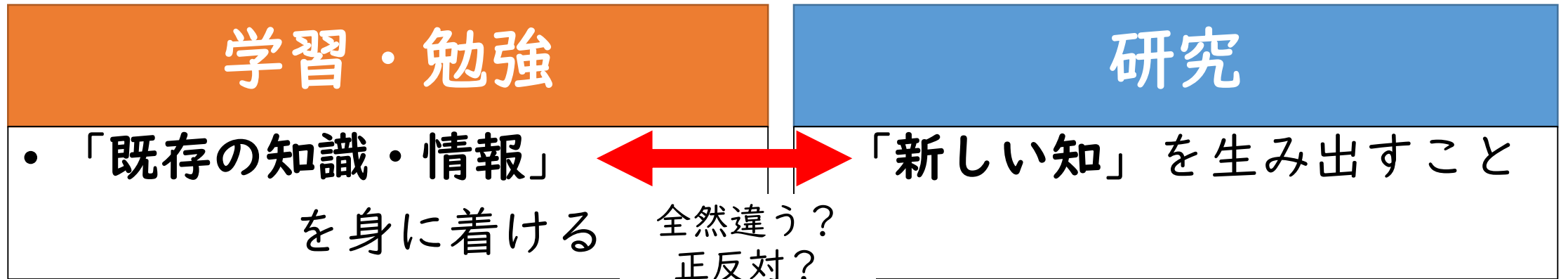
やっぱり一番大変なのは

修士論文

まとめると...

①在学期間 + ②スクーリング（授業単位） + ③**学位論文**

論文とはどういうものか 「学習」と「研究」の違い



既存の学問・研究を
どうやって把握すればよいのか？

「新しい知」=論文を
どうやって書けばいいのか？

↓ そうではない！
“巨人の肩の上に立つ”

Stand on the shoulders of giants.

↑ 「巨人」=既存の学問の到達点
「立つ」=「新しい知」（新規性）

既存の学問研究を踏まえたうえで「新しい知」を生み出すのが研究

2. 先行研究・資料の探し方

一次資料と二次資料の区別

- “巨人の肩の上に立つ”ためには“巨人”＝先行研究を把握する必要
- 法学の研究にはどうしても法律（省令・政令・条例）の条文・（裁）判例が必要
分野によってはソフトロー（自主規制など）・審決等も必要

- 一次資料：条文・（裁）判例など
- 二次資料：研究論文など

一次資料を基に作られた資料なので研究論文のほか解説や教科書、ウェブ記事等も含む
立論の根拠づけとしては1次資料＞2次資料
しかし研究状況を知るためには2次資料が必要

どうやって先行研究・資料を探すか？

- 伝統的な手法：紙媒体の資料—**図書館**の活用（+自費で購入）
- 近時の手法：インターネット—**無料のデータ**+**有料のデータベース**



- どちらも一橋大学（ビジネスロー専攻）では
一橋大学附属図書館が支援
 - 物理的な図書館：千代田キャンパス 5階千代田図書館+国立の本館
 - 図書館が管理しているデータベース←**MyLibrary**で利用可能

千代田キャンパス図書室（5階）

- 千代田キャンパス図書室のご案内
 - <https://www.lib.hit-u.ac.jp/services/library/libraries/chiyoda/>
- 開室時間（時期により変更あり、詳細は図書館HPを確認）
 - 授業期: 13:15 - 16:00 , 17:00 - 20:15
 - 休業期: 11:30 - 14:30 , 15:30 - 18:30
- 大学院生は貸出冊数30冊まで、学習用図書2週間・一般図書2ヶ月・製本雑誌1週間まで、延滞ペナルティ有り
- 千代田キャンパス図書室の利用規則
 - <https://www.lib.hit-u.ac.jp/20220221/29804/>

MyLibraryの使い方

一橋大学の有料データベースは原則としてMyLibraryで一括管理

- MyLibrary解説動画

- <https://www.youtube.com/watch?v=IdDNlb6OUDs>

その他一橋大学附属図書館YouTubeチャンネルに有益な動画多数

<https://www.youtube.com/channel/UC4vIKG7XwI0QUBF6abmK-4g/videos>

- (オマケ) 一橋大学附属図書館X (旧twitter)

- https://twitter.com/hito_lib

日本法の調べ方：一次資料（法律）

- 法律・政令の調べ方

- e-Gov法令検索

- <http://elaws.e-gov.go.jp/>

- Westlaw Japan（有料データベース・MyLibraryから）

- 改正前の条文を調べたい



- 「法令」検索→「履歴」タグの「新旧」表示を選択

- たとえば「平成26年改正によって導入された会社法327条の2の令和元年改正前の条文」を探す

日本法の調べ方：一次資料・（裁）判例

裁判所

- 裁判所Webサイト（裁判例検索）

https://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search/

有料データベース

- LEX/DB

大学内からのみ利用可能（同時アクセス：3）



- Westlaw Japan

学外アクセス可能。同時アクセス制限なし。

日本法の調べ方：二次資料・論文等

・何を手がかりに（重要）論文を集めていくか？

・芋づる方式

古典的な方法だが「重要」論文を探す方法として最も手っ取り早い

欠点：その時点以降の文献にアクセスできない

・検索方式

理論的には網羅性が高いはずだが量が多すぎる＝取捨選択の技術が必要

検索には「コツ」が必要

⇒ここでは「検索方式」



日本法の調べ方：二次資料・論文等

- 日本の法学論文が掲載される媒体
 1. 大学紀要
 2. 商業誌
- 前者はインターネット上での公開が増えているものの、後者の一部は有料DBとして提供されているにとどまる。紙媒体に掲載された資料は依然として重要。
 - Westlaw Japan（有斐閣発刊の雑誌、NBLなどを収録）
 - 図書室を利用した（国立キャンパスからの）蔵書取寄せ
 - 公共図書館の遠隔複写サービスの利用例）国立国会図書館・遠隔複写サービス
<https://www.ndl.go.jp/jp/copy/remote/index.html>

日本法の調べ方：二次資料・論文等

- 無料データベース

- CiNii（論文検索） <https://cir.nii.ac.jp/>

※一部無料公開（オープンアクセス）

学内またはMyLibrary経由であれば、有料記事も機関定額制サービス契約済み

- 国立国会図書館サーチ（NDL SEARCH）

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>

※検索機能は、ID/パスワードを設定せずに利用できます（ゲストログイン）。利用者登録をしておけば、検索結果□遠隔複写依頼とスムーズに遷移。

※2022年5月からは絶版等資料の個人送信開始（要ID登録）

https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2021/220201_01.html

- Google scholar（学内DBとの連携・後述）

<https://scholar.google.co.jp/>

- 有料データベース

- **Westlaw Japan**：法学DBとして優秀

二次資料の入手方法：大学図書館の利用

- 一橋大学蔵書検索：HERMES
https://opac.lib.hit-u.ac.jp/opac/opac_search/?lang=0
 - CiNii、NDL-OPAC等の検索窓も設置
 - 電子ブックの検索・閲覧もここから
- MyLibraryを通じた利用者サービス
 - 文献取寄せ
 - サブジェクトゲートウェイサービス（学外からのデータベース・電子ジャーナル利用）

（参考）一橋大学図書館・文献の探し方

<https://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/search/>

Google scholarと図書館DBの連携

1. 一橋大学図書館MyLibraryへのログイン

https://opac.lib.hit-u.ac.jp/opac/opac_search/?loginMode=disp

2. Google scholar > 設定 > 図書館リンク

https://scholar.google.co.jp/scholar_settings#2



The screenshot shows the Google Scholar settings page. At the top is the Google logo. Below it is the text "Scholar 設定". On the left side, there is a vertical menu with the following items: "検索結果", "言語", "図書館リンク" (highlighted in red), "アカウント", and "ボタン". The main content area is titled "図書館アクセスリンクを指定 (最大 5 つ) :". It features a search input field containing "Hitotsubashi" and a blue search button. Below the input field, it says "例: 東京大学". A list of library links is shown, with one item highlighted in a blue box: " Hitotsubashi University - Full-Text @ My Library".

通常、図書館へのオンライン アクセスは会員のみ制限されています。図書館のパスワードを使用してログインする、大学のコンピュータを使用する、図書館のプロキシを使用するようブラウザを設定するなどが必要になる場合があります。図書館のウェブサイトにアクセスするか、担当者に問い合わせてください。

(続) Google scholarと図書館DBの連携

3. 大学の契約DBからPDFをダウンロードできる論文については、リンクが生成される
(分野をまたいで英語文献を探す際には特に便利)

The screenshot shows a Google Scholar search for "Delaware and corporate governance". The search bar at the top contains the text "Delaware and corporate governance" and a search button. Below the search bar, the results are displayed in a list format. The first result is "A survey of corporate governance" by A Shleifer, RW Vishny, published in The journal of finance, 1997. The second result is "Corporate governance and equity prices" by P Gompers, J Ishii, A Metrick, published in The quarterly journal of ..., 2003. The third result is "[PDF] Future as history: The prospects for global convergence in corporate governance and its implications" by JC Coffee Jr, published in Nw. UL Rev., 1998. To the right of the search results, there are three callout boxes with blue borders. The first callout box points to the first result and contains the text "[PDF] jstor.org Full-Text @ My Library". The second callout box points to the second result and contains the text "[PDF] jstor.org Full-Text @ My Library". The third callout box points to the third result and contains the text "[PDF] heinonline.org Full-Text @ My Library".

Google Delaware and corporate governance

Scholar 約 19,000 件 (0.10 秒)

記事
マイライブラリ

期間指定なし
2017 年以降
2016 年以降
2013 年以降
期間を指定...

関連性で並べ替え
日付順に並べ替え

すべての言語
英語と日本語のページを検索

A survey of corporate governance
A Shleifer, RW Vishny - The journal of finance, 1997 - Wiley Online Library
... Much of the difference in **corporate governance** systems around the world stems from the ... For example, in France the doctrine of **corporate** opportunities, which prohibits managers from personally profiting from business opportunities that are offered to the **corporation**, is not ...
引用元 17226 関連記事 全 57 バージョン Web of Science: 2516 引用 保存

Corporate governance and equity prices
P Gompers, J Ishii, A Metrick - The quarterly journal of ..., 2003 - qje.oxfordjournals.org
... 117 **CORPORATE GOVERNANCE AND EQUITY PRICES** Page 12. ... 1990 Democracy portfolio State of incorporation 1990 **Governance** index 1998 **Governance** index IBM New York 5 6 Wal-Mart **Delaware** 5 5 Du Pont de Nemours **Delaware** 5 5 Pepsico North Carolina 4 3 ...
引用元 7018 関連記事 全 61 バージョン Web of Science: 1413 引用 保存 その他

[PDF] jstor.org
Full-Text @ My Library

[PDF] jstor.org
Full-Text @ My Library


[PDF] heinonline.org
Full-Text @ My Library

[PDF] Future as history: The prospects for global convergence in **corporate governance** and its implications
JC Coffee Jr - Nw. UL Rev., 1998 - HeinOnline
... Thus, while the law of **Delaware** may differ from that of California, these differences ... with substantial and varied business experience, is a critical element in **corporate governance** and has contributed to the relative efficiency of the American business **corporation**.39 Why then ...
引用元 1914 関連記事 全 22 バージョン Web of Science: 350 引用 保存

アメリカ法の調べ方(1)

- Legal Information Institute (Cornell univ)
<https://www.law.cornell.edu/>
 - 法典 (U.S. Code) 検索
<https://www.govinfo.gov/app/collection/uscode>
- 判例法
 - Caselaw Access Project (HLS)
<https://case.law/>
 - Google Scholar
https://scholar.google.com/schhp?hl=en&as_sdt=2006

アメリカ法の調べ方(2)

- データベースの活用
 - Lexis.com
 -  • HeinOnline
 - Westlaw (Key Number Systemを利用した判例検索)
- SSRN (プレプリント) <https://www.ssrn.com/index.cfm/en/>
- 経済学分野にまたがる先行研究の検索には、Google Scholar (大学図書館DBとの連携) が有益

アメリカ法の引用方法および文献管理

- 引用方法（アメリカ法）
 - Bluebook
*共同研究室に備置き
<https://www.legalbluebook.com/bluebook/v21/quick-style-guide>（無料部分）
 - Introduction to Basic Legal Citation
<https://www.law.cornell.edu/citation/>
- 文献管理
 - Medelely
<https://libguides.law.villanova.edu/researchmanagementsystems/mendeley>

欧州法の調べ方

欧州は各国法とEU法とに分かれる

- EU（欧州連合）法
 - EUR-Lex <https://eur-lex.europa.eu/homepage.html>
- フランス法
 - Légifrance <https://www.legifrance.gouv.fr/>
- ドイツ法
 - Gesetze im Internet <https://www.gesetze-im-internet.de/>
- 英国法
 - Legislation.gov.uk <https://www.legislation.gov.uk/>
- 論文検索はGoogle ScholarやSSRN等を駆使
法律論文データベース（有料）として
英国：Halsbury's (Lexis) ドイツ法：JURISなど
（一橋大学はHalsbury'sは未購入 [だと思ふ]）

補足：アメリカ法の調べ方 GBL総合問題でのガイダンスのお知らせ

- 主に博士課程・博士課程進学希望者へ
GBLの学生は修士でも必須
- 日程は未定（第3週：4月24日が有力）
講師：Leon Wolff先生ほか
 - Lexis（Lexis Advance）やWestlawなど一橋大学が購入しているデータベース（MyLibraryから利用可能）を中心にアメリカ法（及び諸外国の法律）の研究方法を教授
 - 博士課程学生は必ず一度は受講したほうが良い
 - GBL以外の参加希望者はLeon Wolff教授（leon.wolff@r.hit-u.ac.jp）とゼミの指導教員に連絡すること

集めた資料の管理文献リストの作成

- 集めた資料の管理方法
指導教員によっては「文献リスト」の作成が求められることも
(参考) <http://www.tufs.ac.jp/blog/is/g/sodan/bunken/>
- ワード (参考資料□資料文献の管理)
- エクセル (関数を利用した文字列の連結)
- 文献管理ソフトの利用：Medeleyなど
法学は引用方法が特殊なので、最適な文献管理ソフトは存在しない



3. 論文の書き方

アカデミック・ライティング

- 電子メール・ワードの使い方など
 - 東京外国語大学「大学生のためのアカデミックライティング」……いちばん簡単（ワードの使い方など） 社会人には不要？
<https://www.tufs.ac.jp/ts/personal/mkeiko/wp-content/uploads/sites/7/2014/05/0e2f4bde9ee2a5213a23f5cf8aabfe27.pdf>
ワードの「相互参照」「アウトラインレベル」機能などを知らない方は要チェック
- HBLの論文の書き方
 - 宍戸善一「論文の書き方」：HBL学生を想定した論文の書き方
https://www.law.hit-u.ac.jp/bl/wp-content/uploads/2021/02/Instruction_s.pdf
- 法学論文の書き方の基礎
 - 東京大学大学院法学政治学研究科「研究論文の作法—法学・政治学分野における博士論文作成に関するガイドライン—」
https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2017/10/4_1_1.-How-to-write-thesis-LP_JP.pdf
「勉強≠研究」であることから「研究論文」の書き方の基礎まで

アカデミック・ライティング

より一般的なレベルで. . .

- アカデミック・ライティング入門

- 阪大生のためのアカデミック・ライティング入門

<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/web/HAW/index.html>

- 「言葉を大切にしよう—論文・レポート作成の心得〔改訂増補版〕」

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/assets/files/student/kotobaotaisetuni.pdf>

- 研究を進めていく上で有益な指針

- 修士課程：近田政博「社会人大学院生を対象とする研究方法論の授業実践」付録・修論作成ティップス

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/publications/journal/no8/07.pdf>

- 曾我謙悟「先行研究を読むとはいかなる営みなのか？」

(上) http://www.yuhikaku.co.jp/static/shosai_mado/html/1409/07.html

(下) http://www.yuhikaku.co.jp/static/shosai_mado/html/1501/06.html

論文の引用・参照方法

- 論文を参照する作法（必要な情報、著者名・論文タイトル等の順番…）
- すでに登場した文献を再度参照する場合の作法
- 法令名や文献の略語

2) 山部俊文「判批」江頭憲治郎ほか編『会社法判例百選』188頁（有斐閣，2006）は、「本判決は，上記①②③が旧245条1項1号所定の営業譲渡の不可欠の要件であることを示したものとして理解されている」とする。もっとも，「そのような理解には異論もある」として，後掲注3)の大塚教授および宇田教授の諸説を引用している。判例が①②③を要件としているという理解を述べた文献として，主要なものとしては，竹内昭夫『判例商法Ⅰ』150頁，158頁（有斐閣，1976）〔初出・法協83巻4号621頁（1966）〕，上柳克郎「営業譲渡」鈴木竹雄ほか編著『新商法演習1会社（1）』241頁，243頁（有斐閣，1974）〔以下，「上柳・演習」で引用〕，上柳克郎「営業譲渡」『商事法論集』266頁，267頁（有斐閣，1999）〔初出・上柳克郎ほか編『会社法演習Ⅱ』（有斐閣，1983）。以下，「上柳・論集」で引用〕，落合誠一「営業の譲渡と特別決議」倉澤康一郎還暦『商法の判例と論理』165頁，168頁（日本評論社，1994），前田庸『会社法（第12版）』763頁（有斐閣，2009）が挙げられる。このうち，上柳教授と前田教授は本判決に賛成であり，竹内教授と落合教授は，本判決に反対し，Vで紹介する有力説（有機的一体として機能する財産を譲渡することのみを要件とする立場）を支持する。

引用方法

- 法律文献等の出典の表示方法

法教育支援センター：

<https://houkyouikushien.wixsite.com/bunken/>

東京大学法科大学院ローレビュー：

<http://www.j.u-tokyo.ac.jp/students/wp-content/uploads/sites/5/2017/11/20180115quote.pdf>

北大法学論集：

<https://lex.juris.hokudai.ac.jp/ronshu/citation.html>

「研究論文の作法－法学・政治学分野における博士論文作成に関するガイドライン」
(東京大学大学院法学政治学研究科)：

http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2017/10/4_1_1.-How-to-write-thesis-LP_JP.pdf